

きゃろりん通信

チロリン村学級

●令和7年12月 吉日発行●

師走を迎え、寒い毎日が続いておりますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

早いもので2学期も終わりに近づいてまいりました。チロリン村学級の活動も残すところあとわずかです。学級生は1学期に引き続き、精力的に活動を続けてまいりました。

2学期に行われた活動をご報告いたします。

第3回講座 子育て支援講座

「毎日の子育て、親の元気は子供の元気」～心が通う感情の伝え方～

9月10日に埼玉県家庭教育アドバイザーの福森厚子先生をお招きし、「怒り」をテーマに講話が行われました。

参加者が3つのグループに分かれて、直近1週間の生活を振り返り、自分の子どもに怒ってしまったことを発表し合いました。些細なことでついイラっとしてしまうことも改善策として深呼吸して6秒待ってみる、ダラダラ長く怒らない、少し子どもと離れるなど、学級生で提案し合い、怒りへの向き合い方を考えました。

講座を通して、怒りの感情は押さえつけるのではなく、上手にコントロールすることが大切であるということを学ぶことができました。

講座参加者の感想

- みなさんの話を聞いて共感するところが多く、うちだけじゃないんだと思えて少し安心しました。
- 怒りの感情を思うままに子どもにぶつけていましたが、意味のない怒りは後悔につながるので、イラっとしたときは少し待ってみようと思いました。
- 子供が成長していくように、親もその都度子どもとの関わり方を振り返り、見直し、実行していくことが必要だと思います。



第4回講座 給食試食会

10月24日に給食試食会が開催され、試食の前に第一学校給食センターの栄養教諭である市村和美先生より学校給食についての講話が行われました。

北中小学校の給食は、第一学校給食センターからやってきます。給食がある日は毎朝7時15分から小学校9校と中学校6校の計15校、1日7,000食以上を作ってくださっています。

毎月の献立を決める際には物資選定委員会（見本審査会）といわれるものがあり、1ヵ月以上前から栄養士や調理主任、校長先生やPTAの方たちが食品の安全性や価格等を検討し決めていることを知りました。また、低・中・高学年によってエネルギーの摂取基準が異なるため、それぞれ計算された栄養量をしっかり摂取できるように考案されているそうです。

講話を聞き、大変勉強になると同時に感謝の気持ちでいっぱいになりました。

給食もとてもおいしくいただきました。

講座参加者の感想

- 衛生管理を徹底して作ってくださっているので安心しました。
- 子どもたちの苦手なものを少しでも食べられるように、人気がないから出さないのではなく、工夫するということが印象的でした。



★学校給食のレシピはホームページに掲載されています。

所沢市HP⇒子育て・教育⇒子どもの教育⇒学校給食⇒学校給食の「おすすめレシピ」



第5回講座 西武鉄道小手指車両基地見学

11月17日に西武車両基地見学が開催されました。当日は、学級生に加えて所沢市社会教育課の柳下氏にもご参加いただき、西武鉄道の方々による案内のもとで基地内を見学しました。

車両の清掃や点検作業、車輪の^{さくせい}削正作業を目にしながら、担当の方が細かく説明をしてくださいました。また、乗務員室に入り、非常ベルや車内アナウンスを体験しました。

日々の電車運行がどのようにして行われているかを知ることができ、貴重な経験をさせていただきました。

